



かみこあにむら
議会だより

みどり

第 160 号

発行 平成29年 1月 10日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL 0186 (77) 2226

FAX 0186 (77) 2227



謹 賀 新 年



今年の干支にちなみ、酉年生まれの小学生に夢を語ってもらいました。【最終ページに掲載】

12月定例会

■新年のあいさつ P 2
■一般会計補正予算 P 3
■人事案件・陳情・意見書 P 4
■一般質問 4氏が登壇 P 5
■議会の動き P 9
■編集後記 P 10

新年のあいさつ

議長 小林 信



あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

今年、村は明治22年の誕生から128年を迎えます。歴史と伝統ある上小阿仁村の姿を揺るがすことがない、平和な1年でありますことを念願いたします。

昨年の6月に公職選挙法が改正され、夏に行われた

参議院選挙から18歳以上が投票できることになりました。村でも新たに18歳と19歳の43名が選挙人名簿に登録され、行されました。10代が選挙権を持つのは、一つの大きな変化ではあります。それがだけにとどまるのは勿体ないことではないかと思います。秋田北鷹高校では、昨年1月に「18歳選挙権講座」が行われ、726人の生徒が選挙制度への理解を深めたとありました。

全国的に若年層の投票率の低さや、また政治への参加も含め、選挙自体への関心の低さが言われておりま

す。「若者と政治をつなぐ」をコンセプトに活動している

上小阿仁村は、あらゆる課題にも真摯に向き合い、上小阿仁村の発展に向け努力を重ねてまいります。さらなるご理解、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



いいたいものです。
健康で明るく、笑顔の絶えない1年でありますことを心から願つて、新年のあいさつといたします。

12月定例会

平成28年第5回定例会は、12月13日から15日までの3日間の会期で開催しました。

一般質問は4人が登壇し、市町村有償運送、税収確保対策、施設導入の財源確保、伝統的行事の存続と体験交流など8項目について問いました。

今定例会では、一般会計補正予算や各特別会計補正予算、条例改正案21件を全会一致で可決。最終日の本会議では人事案件2件が提案され、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命について、それぞれ同意しました。

一般会計補正予算 166万円追加 高齢者世帯等除雪費助成金を計上

平成28年度一般会計補正予算は、高齢者世帯等除雪費助成金など、総額166万円を追加し、補正後の総額は25億7835万4千円になりました。

歳出の主な内容は、次のとおりです。

●震災復興交付税返還金

602万4千円

東日本大震災における復興づくりに対し交付され、防災対策事業等に充当しましたが、制度の要綱に照らして返還するものです。

●高齢者世帯等除雪費助成金

333万円

平成23年度から高齢者等の冬期間における生活の安全と費用負担の軽減を図るため実施しております。

対象世帯は、満70歳以上の者のみの世帯や、心身に障害をもつ者のみの世帯のほか、家族全員が高齢や身体上の理由など、自力で除雪が困難な世帯が対象となります。

助成費は対象除雪費の2分の1、1世帯あたり3万円を限度とし助成します。

●バス路線維持費

340万8千円追加

●常備消防委託料

353万6千円追加

農地中間管理機構集積協力金
131万6千円追加
農地中間管理機構への農地の出し手に対する支援です。

▼特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
▼一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
▼上小阿仁村公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定

農業集落排水事業特別会計操出金
401万円

小中学校放送室設備改修工事
253万2千円

●財政調整基金積立金

△3266万円

▼上小阿仁村消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

上小阿仁村国民健康保険税条例の一部改正

▼上小阿仁村消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

条例改正

11議案

条例議案11件は、原案どおり承認・可決しました。

▼上小阿仁村放課後児童クラブ条例の一部改正



▼議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

▼上小阿仁村農業委員会の選挙による委員の定数条例の全部改正

（3）上小阿仁村議会だより 第160号

人事案件 2件



清水博司氏
(昭和27年6月27日生)



伊藤勉氏
(昭和22年6月4日生)

任期満了に伴う教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任については、議長を除く7人で無記名投票を行った結果、賛成多数で同意しました。

● 教育委員会委員の任命

- ◇ 安全・安心の医療介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を求める陳情
- ◇ 地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書を求める陳情
- ◇ 「高額医療費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国への意見書の提出の陳情

● 固定資産評価審査委員会委員の選任

- ◇ 安全・安心の医療介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を求める陳情
- ◇ 地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書を求める陳情
- ◇ 「高額医療費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国への意見書の提出の陳情

12月定例会では、5件の陳情を審査しました。

採択

陳情 5件

（提出者）
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
秋田県保険医協会 会長 草彌 芳明

（提出者）
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳

現在、全国の町村議会が抱えている問題の一つとして、町村議会では、議員の担当を中止し、充実を求める国への意見書提出の陳情

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」

地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながつていいと考えられ、そうした観点から、議員発議による意見書（発議第1号）が提出されました。

議員発議による意見書の提出

5件について、最終日の本会議で可決。関係機関に意見書を送付しました。
12月15日の本会議で可決し、関係機関に意見書を提出しました。

質問

利用者の利便を図るため

トイレの整備が必要では

村長

上ノ岱スポーツエリアを

活用してもらいたい



【大城戸ツヤ子議員】

村の公共交通会議で決定し
た時刻で運行が始まった。

当初は、八郎潟町や五城目
町の病院への通院時間を優
先して設定されたものであ
る。運行時刻は、平成25年
4月に定期便から予約制に
変わった時に変更している。

平成27年度の利用実績では、
八郎潟駅が162人で67%、

湖東病院が56人で23%と、
駅の利用者が多くなってい
る。近年は、軽微な時間変
更であれば運輸局への届出
も必要なく、JRのダイヤ
変更に合わせた変更を行つ
てているが、委託先の社会福
祉協議会からの変更要望を
村が承認している。

阿仁～八郎潟駅は秋田市へ
の交通手段として大切な路
線であるが、
①運行時刻は、いつ、誰が、
どこで、どのように決める
のか。
②運行時刻に関連するが、
利用者を増やすための対応
は。

市町村有償運送の運行

質問

交通空白路線、上小
阿仁～八郎潟駅は秋田市へ
の交通手段として大切な路
線であるが、
①運行時刻は、いつ、誰が、
どこで、どのように決める
のか。
②運行時刻に関連するが、
利用者を増やすための対応
は。

市町村有償運送「こ
とに号」の運行は、開始当
初、運輸局への申請時に、
あに号」の運行は、開始当
初、運輸局への申請時に、

意見 大事な事業なので、
村民の願う運行時刻を期待
したい。

村長 ①市町村有償運送「こ
とに号」の運行は、開始当
初、運輸局への申請時に、

質問 旧沖田面小学校グラ
ンドへのトイレ整備

ウンドでは、沖田面地区老
人クラブ、或いは連合老人
クラブの会員たちが自主的
に整備しながら交流会など
を開催しているが、トイレ
の設置を検討しているが、ト
イレ避難場所にもなっているの
で必要ではないか。

村長 旧沖田面小学校の施
設は、現在は倉庫として位
置づけされており、例外的
にグラウンドゴルフ同好会
にグラウンドと野球部室の
使用を認めている。今後に
ついては、現状のまま練習
場として使用していくだけ、
正式な村のグラウンドゴル
フ場としては、上ノ岱スポ
ーツエリアを使っていただ

きたい。新年度からは、常
来るよう整備していきたい。
避けは、ライフラインが整
っていないこと、土砂災害の
危険区域となつており、平
成27年4月発行の洪水ハザ
ードマップからは除いてい
る。

成27年度の利用実績では、
八郎潟駅が162人で67%、

湖東病院が56人で23%と、
駅の利用者が多くなってい
る。近年は、軽微な時間変
更であれば運輸局への届出
も必要なく、JRのダイヤ
変更に合わせた変更を行つ
てているが、委託先の社会福
祉協議会からの変更要望を
村が承認している。

②広報やこあに電話、今一
度、周知を行いたい。

職員の資質向上

質問

これまでも職員の人

材育成について質問してき
たが、
①村民との対話と連絡方法
②日常業務における点検

村長 ①市町村有償運送「こ
とに号」の運行は、開始当
初、運輸局への申請時に、

③職員自主研修も実施した
ばかりで、今後、意識改革
が少しでも図られると考え
ている。民間への研修も検
討していきたい。

③職員自主研修も実施した
ばかりで、今後、意識改革
が少しでも図られると考え
ている。民間への研修も検
討していきたい。



体育の日の記念行事でグラウンドゴルフを楽しむ同好会

質問

村で大型投資をして事業を起こせないか

村長



【佐藤真二議員】

木質バイオマス等も含めた林業成長産業の活性化を図りたい

自主財源対策

質問 公設民営など、33億の自主財源の一部を投資し、税収を増やす方法は考えられないか。

村長 高齢化率の増加が顕著なことから、未来づくりプロジェクト等により人口減少の歯止めとして、集住型宿泊交流施設設計画及び各種の体験メニュー等による課税されている。このように固定資産税の減免理由は限られているため、質問の内容での見直しは難しいので理解いただきたい。

流入人口の増加を図り、収入の増加を図っていきたい。

村には、先人から受け継いで宝の山があるため、皆伐・間伐事業を積極的に活用し、木質バイオマス等に限定した村独自の対策ができるのか。休耕地にも

それでも税金を軽減できるよう村にするため、取り組んでもらいたい。村で投資はできる。投資して経営は任せ、外から人を呼び込むような方策を前向きに検討してもらいたい。

質問 村では年々高齢化率が高くなり、一人暮らしの村民も増えている。生活費が年金のみで、一人世帯の高齢者の負担を軽減する意味でも固定資産税の見直しを考えられないか。

固定資産の見直し

村長 固定資産税は、地方税法にその税率等が定められており、資産評価も3年ごとに評価替えを行うなど、

実態に即したものになつてゐる。不動産鑑定士による調査を全県的に一斉に行い、住宅地・商業地等の条件により適正に評価されていると思つていい。減免については、「天災その他特別な事情がある場合や、貧困により生活のため公私の扶助を受ける者、その他、特別な事情がある場合に限り、市町村の条例に定めるところによる」とされており、

村の条例及び規則では、①貧困により生活のため公私の扶助を受ける者の所有する耕作放棄地等、田畠、産業に結びつくようなことを考える必要がある。高齢者は色々な技術を持つてるので、若い人達が継承しながら、その農地を活用するなど、税法上は難しいが、側面から収入が上がるよう取り組みを検討していく

質問 法律に則つて答弁していただいた。村は県内でも安いと聞いているが、一人暮らし老人や高齢者世帯に限定した村独自の対策ができるのか。休耕地にも

一定の流量が小阿仁川に放流されていることから、大鎌ゴミ処分場の水力発電所の旧導水路活用も含めた小水力発電所が建設され、含めた林業成長産業の活性化を図りたい。萩形ダムには小水力発電所が建設され、

平成27年に設置された太陽光発電施設
(上仏社・梨ノ木岱)